



魅力ある農業を楽しむ若手農業者

【就農14年目】 青年農業者 たなか けいすけ 田中圭介さん

○就農のきっかけ

学生時代は寮生活だった田中さん。それまで当たり前のように食べていた実家で採れた野菜や米のおいしさに改めて気づき、就農を決意されました。

○広い視野も持った農業経営のために

就農14年目になる田中さんは、現在、福岡県農協青年部協議会の久留米地区の委員長を務められ、青年部での活動を通じて県内外でネットワークの輪を広げています。

そのネットワークの輪は、農業分野だけでなく、異業種の人たちとの交流も積極的に行い、広い視野を持った農業経営を展開していくために人と人のつながりを大切にしています。

○久留米の豊かな自然を次の世代へ

「農業のやりがいは、生産した野菜がおいしかったと直接聞けること。そのためにも安心して安全な野菜を安定的に生産し、私たちが生産する農作物が食卓を彩り続けられることが目標」と語る田中さん。

「農業は「食」を支える重要な職業。こどもたちがなりたいNo.1の職業となれるような農業を目指して、久留米の自然をしっかりと次の世代に残していきたい。」と熱い想いを語ってくれました。



経営面積 / 3.5ha

主な生産作物 /

リーフレタス、人参、米

労働力構成 / 本人、父、母

臨時雇用3名